

## <溶連菌って、どんなバイ菌？>

### <特徴>

- ・小児に多い、喉が痛くなってきたり、扁桃腺が腫れる病気です。
- ・小児で喉が痛い場合、約15%がこの菌が原因です。
- ・溶連菌だけでは、基本的には咳や鼻水は、あまり出ません。
- ・1～4週間後、「リウマチ熱」「溶連菌感染症後腎炎」「劇症型A群連鎖球菌感染症」を起こすことがあります。
- ・3人に一人くらいの割合で、家族や教室、幼稚園や保育園でうつることがあります。

### <検査>

- ・喉を綿棒で拭って、10分ほどでわかります。
- ・菌がいる場合、約8割の方がこの検査でわかります。

### 「溶連菌感染後（急性糸球体）腎炎」

- ・1～4週間くらいして、血尿が出たり、おしっこの量が少なくなったり、血圧が高くなったり、むくみが出るようなことがあったら、大至急、受診して下さい。
- ・2～4週間後、尿検査で潜血の有無を確認すると良いでしょう。

### 「リウマチ熱」

2～3週間して、以下の症状が出る場合があります。

- 1) また熱が上がってきた。
- 2) 全身の関節が痛くなった。
- 3) 肘・手・足などの皮下にエンドウ豆くらいの大きさの、硬くてコリコリしたリンパ腺のような腫れが出てきた。
- 4) 熱が上がった時や湯上がり、お腹や腕、足の内側に、ピンク色で丸っぽくて花びらの様な、じんま疹のような発疹が出てきた。
- 5) イチゴのようにぶつぶつした赤い舌になってきた。

### <治療>

将来、心臓に炎症を起こして心炎や弁膜症になってしまうことがあるので、治療薬（抗生剤）は、10日間続けて飲みましょう。